



高美が丘中だより

令和3年度

第7号

令和3年10月7日(木)

東広島市立高美が丘中学校

30年目を中学校で迎える皆さんへ

10月14日から後期がはじまります。私たちは、一年間のちょうど折り返し地点に立っています。オリンピックが開催された頃がずいぶん昔のように感じ、気付くとプロ野球もいよいよ優勝争いに決着がつく時期となりました。このまま世の中の流れに乗って、なんとなく生活していると中学校の大切な時間を失ってしまう。失った時間は決して戻ることなく、忘れ去られてしまいます。それを食い止めるために、次の質問に答えてみてください。

「みなさんの今の目標は何ですか。」

自分の言葉で説明出来たらいいのですが、すぐに思い浮かばなかった人は、このまま大切な時間を失ってしまうかもしれません。目指すべき方角をしっかりと定め、5年先・10年先の自分の姿を想像してみると、いまやるべきことが見つかると思います。ぜひ、一度やってみてほしいものです。

さて、30周年記念式典も無事に終わりました。コロナ禍の中でリモートを含めた行事であるため、いろいろと不十分な部分がありましたが、みなさんの協力で成功したと思います。

この30年間で高美が丘中学校を巣立っていった卒業生は、約1万人です。そこには、1万通りの中学時代があり、そして思い出があります。それらが、高美が丘中学校の伝統として築かれ、今日に至っています。約1万人の先輩たちが残してきた歴史を、私たちは後輩へと引き継ぎ、新たな高美が丘中学校へと進化させていくことができれば、どんなにすばらしいことかと考えずにはいられません。

30年目の高美が丘中学校で学んでいる皆さんの大切な時間をもっともっと充実した時間に変えて、学校生活を送ってください。

卒業しても、ここで学んだことはきっと大切な宝物となっていることでしょう。

地域における新しい高美が丘小学校区の発展を祈念して

～高美が丘小学校・高美が丘中学校合同創立30周年記念式典が開催されました～

10月2日(土)、東広島市長高垣廣徳様、東広島市教育委員会教育長津森毅様、高美が丘小学校区住民自治協議会会長神殿敬造様のご参列のもと、高美が丘小学校をメイン会場として記念式典が開催されました。「30年前、高美が丘は『こどもたちは未来からの留学生』を合言葉に、地域をあげてこどもたちを育てる拠点としてスタートしました。」という祝辞の後、小・中学生の演奏、山中信恵さんの講演がありました。会場に入れなかった小・中学生は教室でのリモートによる参加でしたが、本当によく聴いていました。ご支援いただいた多くのPTA役員の皆様、誠にありがとうございました。



緊急事態宣言中もオンライン授業で ～学びを止めない高美中～



緊急事態宣言期間中の9月1日（水）から10日（金）にかけて、各学年2回のオンライン授業を実施しました。午後3時から50分、各学年ごとに課題に取り組み、発表や振り返りの提出などを行いました。難しい内容にもしっかり課題を捉えて取り組んでいる生徒が多く、初めてとは思えない深まった授業になりました。今後は機器の操作に慣れ、ICTを活用した学習に取り組んでいきましょう。



伝統を繋ぎ発展させた体育大会 ～新しい生活様式下の新しい一歩刻む～

9月16日（木）、4日（土）から延期された第31回体育大会が無事開催されました。猛暑、新型コロナウイルス感染拡大、大雨、台風と、『逆境』のオンパレードとなったこの夏、例年の半分近い練習時間を先生と生徒で工夫してやり繰りし、体育大会本番につなぎ、成功させました。昨年に引き続き演技数を減らして実施した今大会でしたが、「NiziU 跳び」や「SD 綱引き」など、密を避けた新しい種目を生徒と教員で生み出していきました。応援団の練習も、少ない時間の中でいかにテーマをまとめていくかを生徒同士で集中して討議し、高めてきました。当日は天候に恵まれ、会場の全員が一つになった素晴らしい大会となりました。今後も、コロナ禍でも発展し、学びを止めない本校教育を進めてまいります。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

